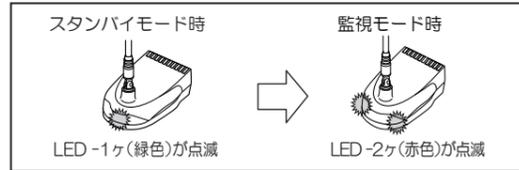


基本動作の確認(つづき)

ステップ3 スタンバイモードから監視モードへ移行することを確認します。

アンテナユニットのLEDが、下記表示に変化することを確認して下さい。



メモ アンテナユニットのLEDは、30秒間または5秒間のスタンバイモードが終了すると、自動的に監視モードへ移行します。スタンバイモード時間の切り替えについては、14ページの2「スタンバイモードの時間切替」を確認して下さい。

ステップ4 振動センサーの動作を確認します。

メモ 一旦センサーが感知すると、その後約5秒間は同レベルの振動(小振動あるいは大振動)を感知しません。

車のガラスやボディを叩いて、警報するか確認して下さい。このとき与えた振動の大小により、車両側とリモコンが、下記表示を行うことも確認して下さい。

	アンテナユニット	サイレン	ハザード	リモコン
小振動感知時	LED-2ヶ(赤色)が高速点滅(1秒)	1秒 断続吹鳴	2回点滅 (配線時のみ)	
大振動感知時	LED-2ヶ(赤色)が高速点滅(5秒)	5秒 断続吹鳴	5秒点滅 (配線時のみ)	

必要に応じて感度を調整して下さい。詳細は、43ページの「振動センサーの感度調整方法」を確認して下さい。ご購入時、振動センサーの大・小の各感度調整は、それぞれ最大(最も「敏感」)に設定されています。

ステップ5 ドアスイッチセンサーの動作を確認します。

重要 保安基準では、「ルームランプおよびカーゴランプスイッチがOFF状態であっても、全てのドア、テールゲートまたはハッチ(ボンネットおよびトランクは除く)に対してドア開を検出すること」と定められています。必ず全てのドア開が検出出来ることを確認して下さい。

車のドアを開け、全てのドアで警報するか確認して下さい。このとき車両側とリモコンが、下記表示を行うことも確認して下さい。

	アンテナユニット	サイレン	ハザード	リモコン
ドアスイッチ感知時	LED-2ヶ(赤色)が高速点滅(30秒)	30秒 連続吹鳴	30秒点滅 (配線時のみ)	

ステップ6 警報機を停止させます。

メモ 警報動作中に(RST)ボタンを押すと警報のみが停止し、警報機は停止しません。このような場合は、バックライト(赤色)が消灯してからもう一度(RST)ボタンを押して下さい。

リモコンの(RST)ボタンを「バック」と音が鳴るまで押し、警報機が停止するか確認して下さい。このとき車両側とリモコンが、下記表示を行うことも確認して下さい。警報機を停止させると、リモコンから「警戒を解除しました。履歴があります。」と発声します。

アンテナユニット	サイレン	ハザード	ドア	リモコン
LED-2ヶ(赤色)が1回点灯	クッククク	3回点滅 (配線時のみ)	解錠 (配線時のみ)	

基本動作の確認(つづき)

ステップ7 アイドリング中に「警戒ON」出来ないことを確認します。

重要 保安基準では、「エンジン駆動中は警報機が動作(警戒ON)してはならない」と定められています。

- ① エンジンキーでエンジンを始動して下さい。
- ② リモコンで警戒ON操作をして下さい。(ステップ2の操作)
- ③ 操作後、リモコンの液晶画面に「本体受付エラー(Eと3が交互に表示)」が表示されることを確認して下さい。

以上で基本動作の確認は、終了です。

仕上げ

ステップ1 配線したハーネス類を整理します。

警告 ・ハーネス類などは、ステアリングシャフトやペダル類の可動部付近には固定しないで下さい。運転操作の妨げになり、事故の原因となります。
・配線したハーネス類は、ビニールテープや結束バンドなどで確実に固定して下さい。固定が不十分だと脱落し、事故の原因となります。

注意 ・接続していない端子部は、ビニールテープなどで絶縁処理して下さい。ショートし、火災・故障の原因となります。

これまで配線したハーネス類をビニールテープや付属の結束バンドなどを使用して、確実に固定して下さい。

ステップ2 外したカバー等を元に戻します。

警告 車のカバーや内張りなどで配線類を挟み込まないようにして下さい。断線やショートし、火災・故障の原因となります。

ステップ3 VAS登録証および設定内容確認表(62ページ)に必要事項を記入して下さい。

以上で取り付け作業は、終了です。

付属のステッカーを貼り付ける場合(任意)

重要 ステッカーは、図1に示すように貼り付け出来る窓ガラスが保安基準で定められています。また運転席および助手席の窓ガラスに貼り付ける場合は、図2の位置に制限されます。

上記保安基準に従って、ステッカーを貼り付けて下さい。

